

SHARP

アイ・エム・ディー・アール
1ビットポータブルMDレコーダー 形名 **IM-DR80**

録音操作早見表（表面）

+

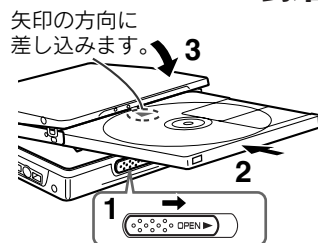
ワンポイントアドバイス集（裏面）

はじめに
お読みください



Printed in Malaysia
TINSJ0168AWZZ
03M R YT ②

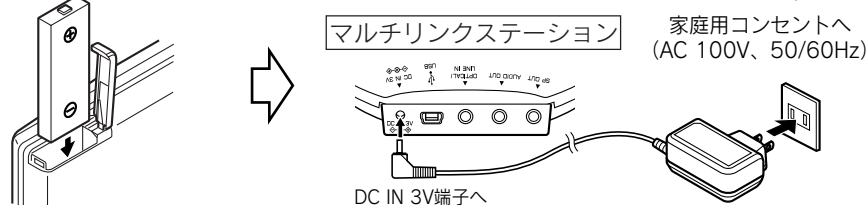
録音用 MD を入れる



閉じる 録音・編集状態
開く 誤消去防止状態

録音するときは、誤消去防止つまみを閉じておいてください。

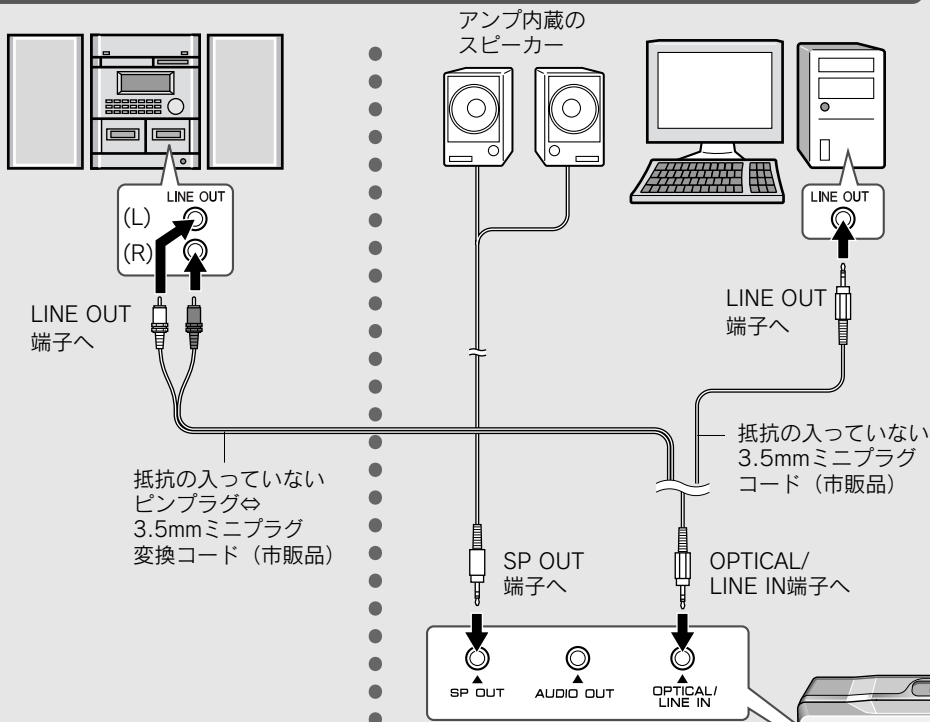
充電池を入れ、AC アダプターをつなぐ



接続のしかた

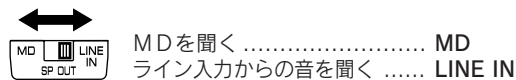
「Net MDセットアップガイド」もあわせてごらんください。

ステレオまたはパソコンから録音したり、再生音を聞くと



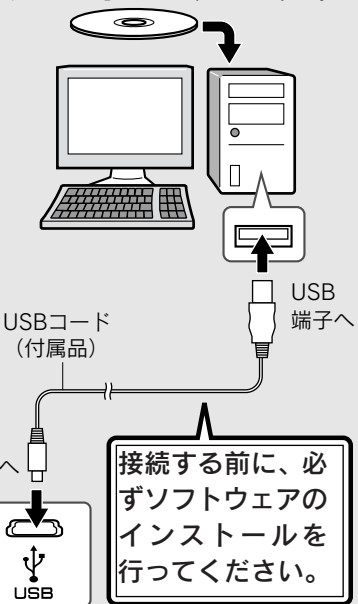
ライン モニター
“LINE MONI” の設定について
パソコンの入出力を同時につかないときは、
ライン モニター オフ
“LINE MONI” の設定を “OFF” にしてハウリングを防止
することをおすすめします。
くわしくは、取扱説明書の 90 ページをごらんください。

スピーカー出力切換スイッチについて
マルチリンクステーションに接続したスピーカーから
出力される音を切り換えるときに使います。



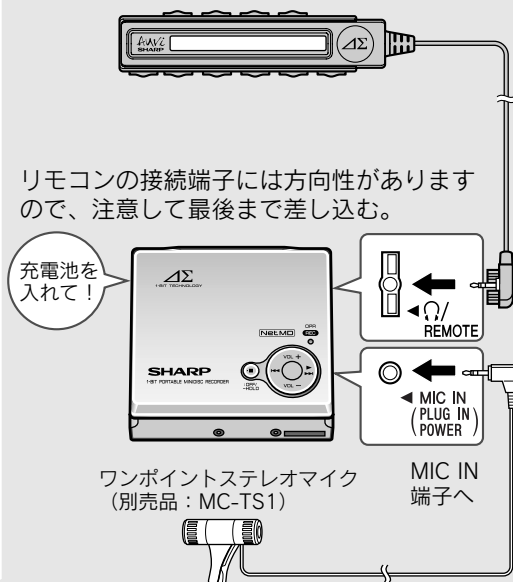
Net MD をするとき

「BeatJam」をセットアップする。



マイクから録音するとき（屋外）

（リモコンで操作する）

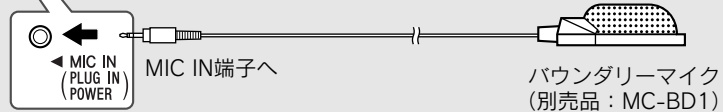


上記のワンポイントステレオマイクの他に
タイピンマイク（MC-TP2）があります。

マルチリンクステーションに置くと、
リモコンと本体では操作できません。

マイクから録音するとき（屋内）

（マルチリンクステーションで操作する）



録音のしかた

ステレオまたはパソコンから録音するとき

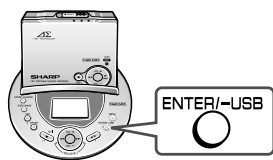
（マルチリンクステーションでの操作）

- 1 REC を押す。
- 2 接続した機器を再生する。
- 3 (◀▶) を押して、録音レベルを調整する。
裏面もごらんください。
- 4 接続した機器を再生の一時停止状態にする。
（曲の頭出しをしておく）
- 5 (◀▶) を押す。
- 6 接続した機器を再生すると、録音が始まります。

Net MD をするとき

（マルチリンクステーションでの操作）

- 1 ENTER/-USB を 2 秒以上押す。



- 2 本体の取扱説明書 107 ページもごらんください。
- 3 「BeatJam」を起動する。
- 3 音楽データを MD に転送（チェックアウト）する。
くわしくは、BeatJam の取扱説明書をごらんください。

マイクから録音するとき（屋内）

（マルチリンクステーションでの操作）

- 1 REC を押す。
- 2 MENU を押す。
- 3 (◀▶) を押して
“MIC LEVEL” を選び、
ENTER/-USB を押す。
- 4 (◀▶) を押して、“ALC-H”、“ALC-L”、“MANUAL” を選び、
ENTER/-USB を押す。
裏面もごらんください。
- 5 (◀▶) を押す。

マイクから録音するとき（屋外）

（リモコンでの操作）

- 1 REC を押す。
- 2 MENU を押す。
- 3 (◀▶) または (◀▶) を押して
“MIC Level” を選び、(◀▶) を押す。
- 4 (◀▶) または (◀▶) を押して、“ALC-H”、“ALC-L”、“MANUAL” を選び、(◀▶) を押す。
裏面もごらんください。
- 5 (◀▶) を押す。

ホールドの設定と、解除について

〈本体操作〉 (◀▶) を 2 秒以上押す。
押すたびに切り換わります。

ホールド設定：録音ランプが 3 回点滅
ホールド解除：録音ランプが 1 回点滅

〈リモコン操作〉 HOLD スwitch を切り換える。



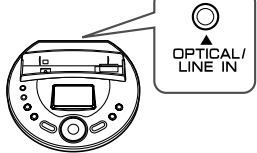
知っておくと役に立つ ワンポイントアドバイス集

音声出力端子（LINE OUT/AUX OUT/REC OUT など）のついていないラジカセやステレオなどから録音したいのですが…

ヘッドホン端子をご利用になると録音できます。

接続コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。

ステレオコード



3.5mmミニプラグコード
(市販品)



録音はアナログ録音になります。録音をするときは、録音レベルの調整が必要です。

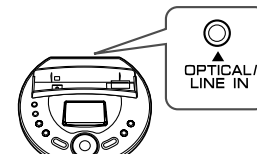
テレビの音声を録音したいのですが…

お手持ちのテレビについている出力端子の形状を確かめて、次のように接続してください。

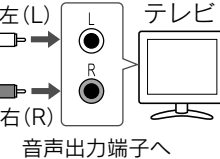
〈音声出力端子から録音するとき〉

接続コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。

ステレオコード



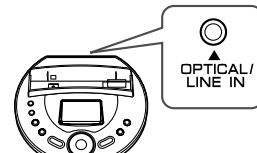
3.5mmミニプラグ⇄
ピンプラグ変換コード
(市販品)



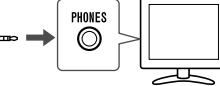
〈ヘッドホン端子から録音するとき〉

接続コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。

ステレオコード



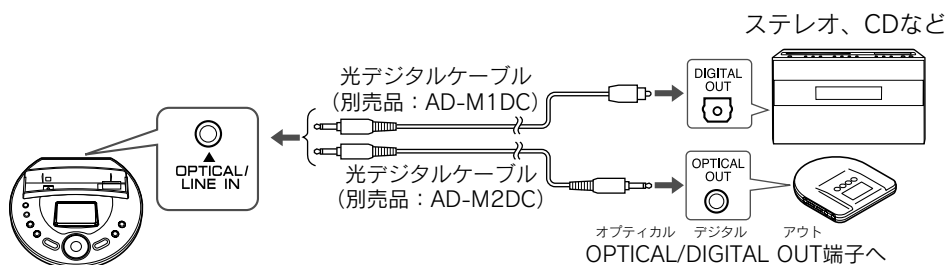
3.5mmミニプラグコード
(市販品)



上記の接続は、いずれもアナログ録音になります。録音をするときは、録音レベルの調整が必要です。

光デジタル端子から録音したいのですが…

光デジタル端子のある機器に、別売の光デジタルケーブル（AD-M1DCやAD-M2DC）で接続すると、アナログ録音に比べて高音質での録音ができます。



パソコンやステレオにつないでMDの音声を録音/再生したいのですが…

〈3.5mm ミニプラグの入力端子付きのパソコンのとき〉

接続コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。

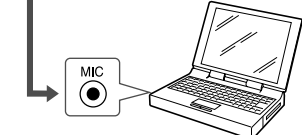
ステレオコード



3.5mmミニプラグコード
(市販品)



マイク入力端子付きの
パソコンのとき

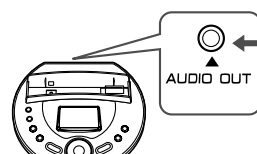


くわしくは、取扱説明書の
49ページをごらんください。

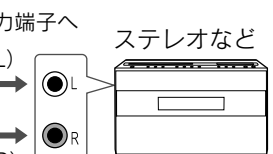
〈音声入力端子付きのとき〉

接続コードは付属されていません。市販品をお買い求めください。

ステレオコード



3.5mmミニプラグ⇄
ピンプラグ変換コード
(市販品)



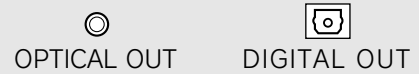
POINT

■ デジタル録音とアナログ録音について

デジタル録音とアナログ録音には次のような違いがあります。

デジタル録音

CDやMDなどのデジタル信号を、デジタルのまま録音する方法です。アナログ録音に比べて、高音質での録音ができます。



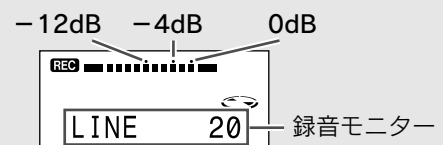
アナログ録音

ステレオやラジカセなどのオーディオ機器での再生音（アナログ信号）を録音する方法です。



■ 録音レベルの調整

最も大きなレベルのとき、-4dBから0dBの間に振れるように調整します。



録音レベルを調整すると、目安として録音モニターが表示されます。

〈デジタルケーブルを接続したとき〉

録音モニターは、D.L. -10dB～D.L. +10dB を表示します。

- CDから録音するときは、“D.L. 0dB” に、CSチューナーなどから録音するときは、“D.L. +8dB” を目安に設定してください。

〈アナログケーブルを接続したとき〉

録音モニターは、LINE 0～LINE 30 を表示します。

- 外部機器のヘッドホン端子から録音するときは、再生する外部機器の音量を音が歪まないように出力を調整し、そのあと、本機の録音レベルを調整してください。

〈マイクを接続したとき〉

メニューから“ALC-H”または“ALC-L”を選択すると自動でレベル調整が行われます。最も大きなレベルのとき、-4dBから0dBの間に振れるほうを選んでください。



“MANUAL”を選択すると手動で調整することもできます。

録音モニターは、MIC L 00～MIC H 30 を表示します。録音するときの録音レベルが小さすぎると、再生しても音が出ないことがあります。

■ 長時間録音された MD について

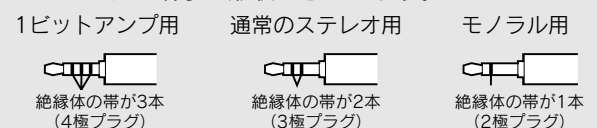
LP2(2倍長時間録音)、LP4(4倍長時間録音)で録音された曲は、長時間再生に対応していない機器では、再生できません。**MDLP** 対応の機器で再生してください。または、SP(ステレオ録音)で録音したMDを再生してください。

■ 抵抗入りの接続コードについて

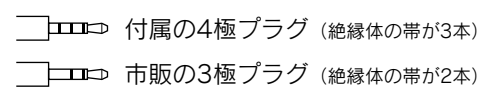
抵抗の入っている接続コードを使って録音すると、音が小さくなります。抵抗の入っていない接続コードを使ってください。

■ 1ビット専用のヘッドホンプラグについて

1ビットアンプ専用のヘッドホンプラグは、通常のヘッドホンのプラグと端子の形状がちがいます。



モバイル1ビットデジタルアンプは、ヘッドホンへのケーブルをプラス側とマイナス側それぞれ左右独立分離することで、相互の信号の影響による音質劣化を最小限とする、高音質設計のフルブリッジ方式を採用しています。



付属の4極プラグヘッドホンは、1ビットポータブルMD専用です。モバイル1ビットデジタルアンプの高精細なサウンドをお楽しみください。

マイナス側を左右で共有している市販の3極プラグヘッドホンでは、方式の違いから本来の高音質を十分に発揮できません。

また、付属のヘッドホンを他の機器で使用すると、片チャンネルしか聞こえない場合があります。

SHARP®

1ビットポータブルMDレコーダー



Net MD セットアップガイド

Printed in Malaysia
TINSJA021AWZZ
03M R YT ①

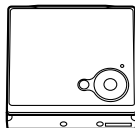
用意するもの



BeatJam CD-ROM



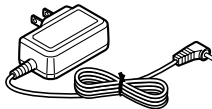
マルチリンク
ステーション



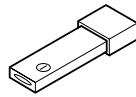
本体



USB コード
(専用タイプ)



AC アダプター
(AC 100V - 240V 対応)



ニッケル水素
充電電池 × 1
(充電電池ケース付)



録音用 MD
(市販品)

接続の前に、必ずソフトウェアのインストールを行ってください。

1. まず、パソコンに BeatJam をセットアップしましょう。

BeatJamをセットアップすると、オーディオ機器に音楽を転送するために必要な、プラグイン・USB ドライバもすべてセットアップされます。

<ご注意>

セットアップは、必ずパソコンに直接接続されたCD-ROMドライブから行ってください。

複数のパソコンをお持ちの方で、ネットワーク経由のCD-ROMドライブからは正常にセットアップできません。

1 パソコンのCD-ROMドライブに BeatJam のCD-ROMを入れる。

セットアップ開始画面が表示されます。



CD-ROMを入れてもセットアップ開始画面が表示されない場合は、次の操作を行います。

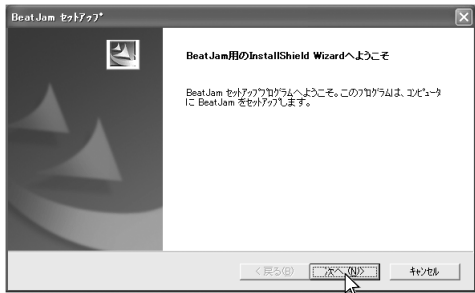
1 Windows® の [スタート] ボタンをクリックして、[マイコンピュータ] を選ぶ。
Windows® Me/98SE/2000 の場合は、デスクトップ上にある [マイコンピュータ] をダブルクリックします。

2 CD-ROM ドライブを示す [OMGBJ] 上で右クリックして、表示されるメニューから [開く] を選ぶ。

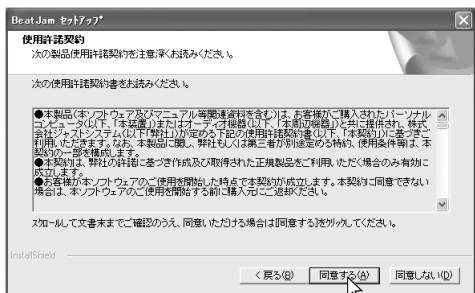
3 表示される一覧から、AUTOPLAY.EXE をダブルクリックする。

2 [BeatJam のセットアップ] をクリックする。

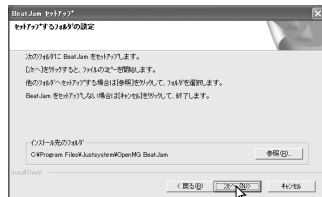
3 [次へ] をクリックする。



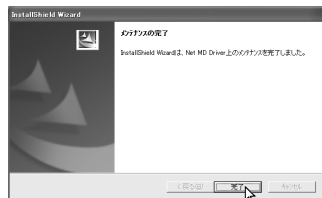
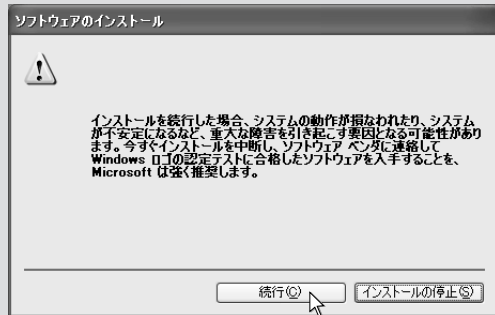
4 使用許諾契約を確認するメッセージが表示されますので、内容を確認して、[同意する] をクリックする。



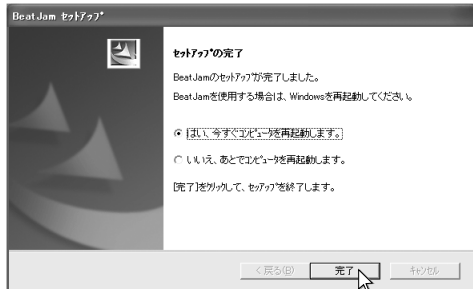
5 画面のメッセージに従って、操作を進める。



Windows® XP ではじめて BeatJam をセットアップしたときは、次の警告メッセージが表示されますが、[続行] をクリックしてください。



6 [完了] をクリックする。



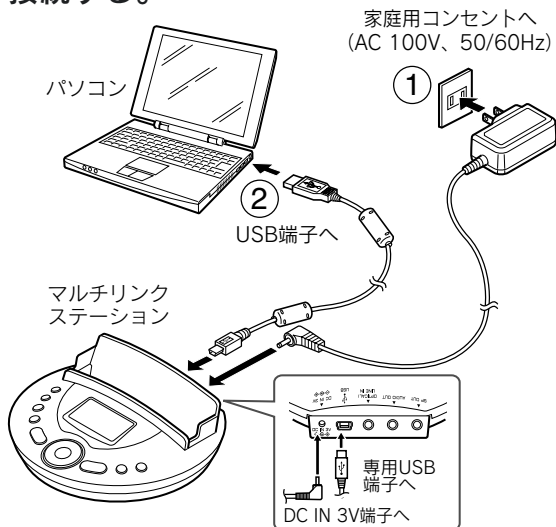
セットアップが終了し、コンピュータが再起動します。

今すぐコンピュータを再起動させたくないときは、「いいえ、あとでコンピュータを再起動します。」を選択したあと、完了をクリックしてください。

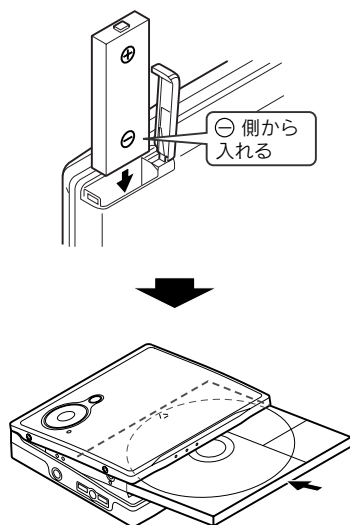
接続の前に、必ずソフトウェアのインストールを行ってください。

2. つぎに、パソコンとマルチリンクステーションを接続します。

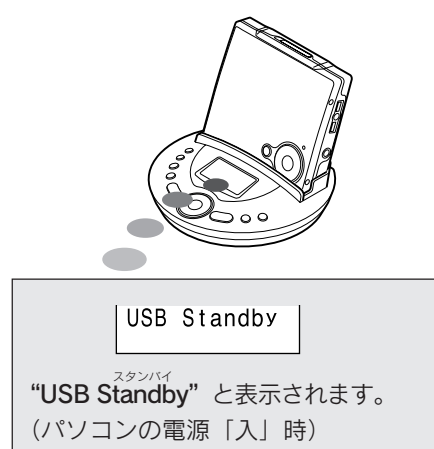
1 付属のUSBコードとACアダプターを接続する。



2 本体に充電電池とMDを入れる。



3 MDを入れた本体をマルチリンクステーションに置く。



4 ENTER/USBを2秒以上押す。



3. それでは、BeatJamを起動しましょう。

Windows® XP ではじめて接続したときは、次の警告メッセージが表示されますが、[続行]をクリックしてください。



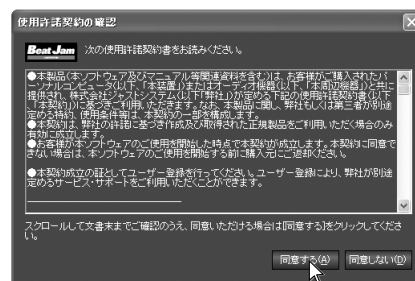
ほかのOpenMGアプリケーションや音楽ソフトが起動している場合は、終了してください。

1 デスクトップ上にあるBeatJamをダブルクリックする。

Windows®の[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム*→JUSTSYSTEMアプリケーション→BeatJam→BeatJam]を選んでスタートできます。

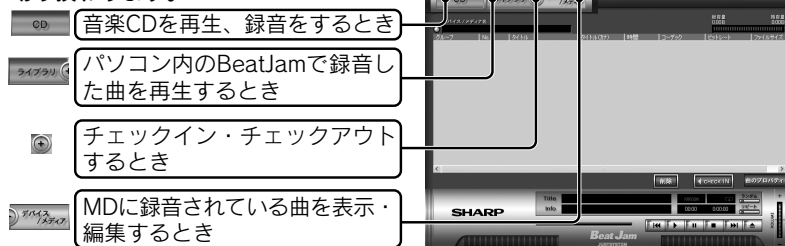
* Windows® Me/98SE/2000の場合は、[プログラム]です。

2 はじめてBeatJamを起動したときは、使用許諾契約を確認するメッセージが表示されます。内容を確認して、[同意する]をクリックする。



3 BeatJamが起動し、操作できる状態になります。

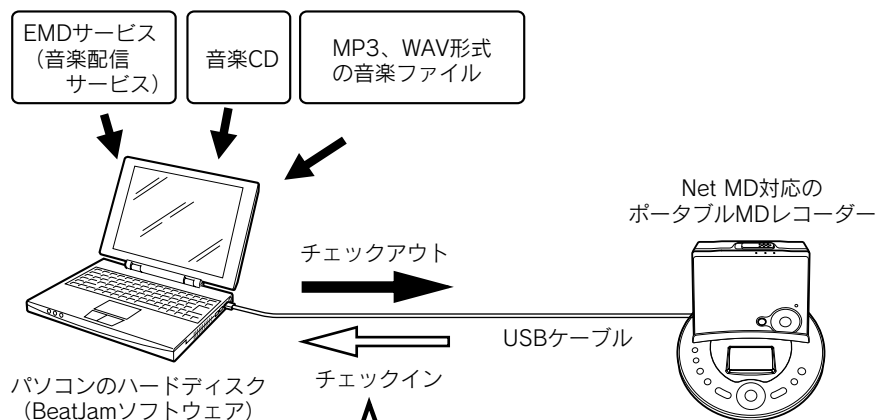
それぞれのボタンを押すと、パネルが切り換わります。



操作方法は、「BeatJamの取扱説明書」をごらんください。

Net MDとは？

パソコンのハードディスクに保存した音楽データをポータブルMDレコーダーに転送(チェックアウト)できます。



チェックアウトした音楽データのみをパソコンのハードディスクに戻す(チェックイン)ことができます。チェックアウトした音楽データを他のパソコンにチェックインしたり、マイクやLINE入力から録音した音声をチェックインすることはできません。MDに録音された音声をパソコンに録音するときは、「本体の取扱説明書」の49ページをごらんください。

Net MDの「故障かな？」と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度調べてください。

インストール(セットアップ)できない。

- パソコンの動作環境は適合していますか？
- Windows® XP ではじめてお使いのときは、「Windowsロゴテストに合格したソフトウェアが入手可能かどうか…」の警告メッセージが表示されませんでしたか？
- 「使用許諾契約」の画面で「同意する」をクリックしましたか？

くわしくは、それぞれの取扱説明書をごらんください。

本体用 BeatJam用

P.102

P.9

「続行」をクリックしてインストールを続けてください。

「同意する」をクリックしてインストールを続けてください。

本体用 BeatJam用

転送できない、MDを認識しない。

- 付属のUSBコードで正しく接続しましたか？
- マルチリンクステーションの「ENTER/USB」ボタンを2秒以上押しましたか？

P.105

「…USB…」の表示を確認してください。

ソフトウェア(BeatJam)に関するサポート情報など、「BeatJamのホームページ」に参考となる情報が紹介されています。
(<http://www.justsystem.co.jp/beatjam/index.html>)